

行事予定等 ※各詳細は別添資料をご覧ください

- 1) ストリートアートステージに新しい作品を展示・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
担当：文化芸術課 内線1292
- 2) 茨城県指定文化財 長禅寺三世堂の内部特別公開 (4/18)・・・・・・・・ 8
担当：埋蔵文化財センター 0297-73-2010
- 3) 鯉のぼりプロジェクト in 岡堰 (4/29~5/5)・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
担当：水とみどりの課 内線1561



PRESS RELEASE

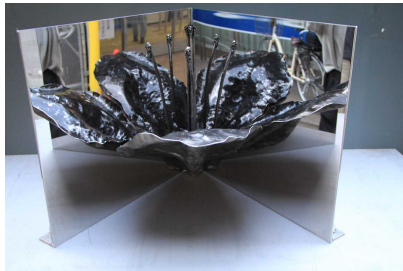
令和6年3月25日

取手市政策推進部文化芸術課

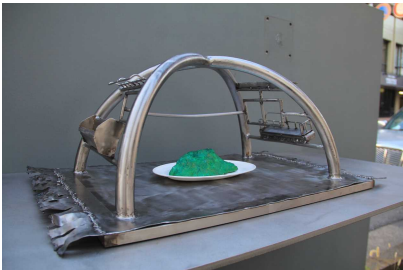
ストリートアートステージに新しい作品を展示！

取手駅東口のストリートアートステージ（屋外作品展示台）2基に新しい作品2点を展示しました

取手駅東口歩道沿いのストリートアートステージ（屋外作品展示台）に、東京芸術大学の学生2人が制作した新しい作品を2点展示しました。令和4年度に様々な作品を展示出来るよう7基の展示台を設置し、うち5基に各1作品を展示。残る2基に各1作品を追加し、7基すべてのステージに作品が揃いました。



作品名：躑躅（つつじ・てきちよく）に憶う（おもう）
作者：柴田 まお（しばた まお）
場所：取手駅東口歩道沿い stage1
素材：ステンレス鋼



作品名：ここにある生活
作者：相原 彩七（あいはら さな）
場所：取手駅東口歩道沿い stage7
素材 / 技法：ステンレス鋼 / ウレタン塗装 着彩

○ストリートアートステージプロジェクトについて

「人とアートが共存する街づくり」をテーマに取手駅東口周辺のステージに美術品を設置する事で、訪れる人々がもっと身近にアートを感じられる豊かな環境を作り出すプロジェクトです。

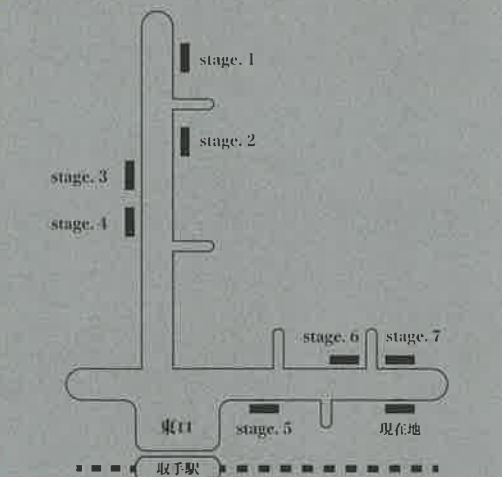
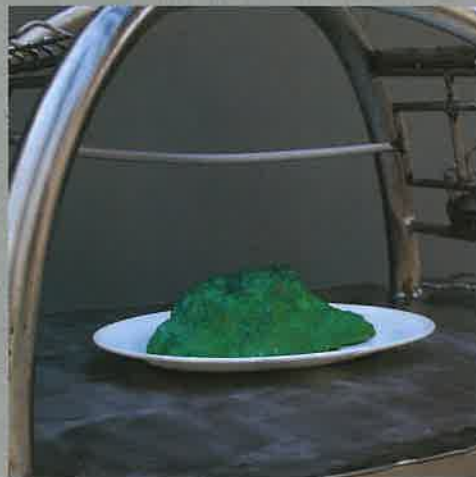
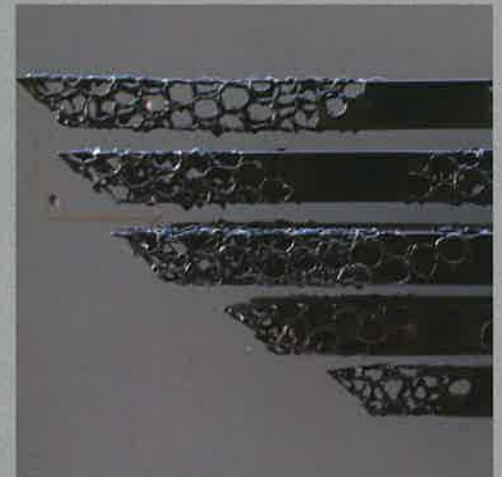
問い合わせ先	取手市 政策推進部 文化芸術課 文化振興係 担当者：本郷 電話：0297-74-2141（内線 1292） E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp
--------	--



TORIDE STREET

取手ストリートアートステージプロジェクト

ART STAGE PROJECT



取手市



東京藝術大学

美術学部 彫刻科 金属研究室

stage.1 柴田 まお 《躑躅に憶う》



素材/技法 : ステンレス鋼

取手市の制定された植物の一つである「躑躅(つつじ)」の花をモチーフに作品を製作。中央に設置されたつつじの花びら一弁に対し、鏡を囲い向かい合わせることで、連続された写像の花びらが映り、一輪の花となる。

「躑躅(てきちよく)」とも読むことができるこの言葉には「ためらい、足踏みする」ことを意味し、変化し続けるいま私たちの環境について考え直すことを説いている。

視覚的違和感を感じながらも、そんな現代だからこそ生まれるつながりやその距離感について考える作品を設置する。

stage.2 高橋 瑠璃 《平和な今の為のうそ》



素材/技法 : レインボーマーブル(大理石)

色々な事の辻褃を合わせる為のたくさんの小さい嘘があたたい人間味を感じる部分だと思いました。

stage.3 小島 樹 《ventifact》



素材/技法 : 鉄 / メッキ処理

ventifact(風稜石)とは砂漠などの乾燥した砂地において、風により運ばれた砂などの粒子によって長い年月を経て削られ、磨かれた石や岩のことである。

私が用いる技法において熟しながら酸素を局部的に噴射し、溶融させた鉄の表面にはその風圧によって抉られたような痕跡が残る。

その痕跡に私は手の中で自然が加速、圧縮されているような感覚があり、目を奪われた。

stage.4 野口 真美子 《共鳴プルメリアフリーダム》



素材/技法 : 銅 / ブロンズ鑄造

例えば谷中の霊園で、小学校へ向かう通学路で、タイの寺院で。そびえ立つ樹木に私の心は震える。ロダンの彫像、特に大きな立像の特徴のひとつとして、人体として見ればかなり激しい重心の傾きが見受けられる。モノ化され構成された人体のイメージ。これはもう樹木であるし、暴力であるし、愛である。

物体である私たちは体からどこへも行けないし、視点を持っている。

光を集める物体としての、樹木と私達の共鳴。

stage.5 本岡 景太 《鉢の花 4-1-2 (ブロンズ)》

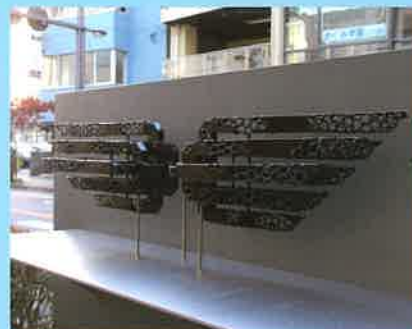


素材/技法 : 銅 / ブロンズ鑄造

紙と酢酸ビニル系樹脂による独自の技法「歪曲張り子」による彫刻を、さらに型取り、鑄造し、ブロンズ彫刻とした作品である。

内側の型から剥がされ、再構築されることで自立する「歪曲張り子」による作品は、薄い紙の厚みに作品の身体の量が定められており、これが中空状の作品の形態に大きく影響を及ぼしている。本来主に紙との対話によって現れていた表現は、ブロンズの肉体に置き換えられ、野外に設置されることで、どのような発展を遂げ、時間と空間に対してどのような角度から存在するのか関心がある。

stage.6 関野 正祥 《assemble wing》



素材/技法 : ステンレス鋼 / ウレタン塗装

伝統文化と技術革新が入り乱れる現代に生きる私たちは、インターネット上で形成される疑似的なコミュニケーションによって本来のつながりが薄まりつつあると感じ、この作品を制作した。モチーフである斗組(マズグミ)は社寺建築などの構造を横に展開し形作ることで、様々な人と人が直接触れ合いひとつのものを作り出す人間の本来の在り方を表現している。

stage.7 相原 彩七 《ここにある生活》



素材/技法: ステンレス鋼 / ウレタン塗装 着色

家を出てこの道を歩いて電車に乗って生活を全うする。

そしてまたこの道を通って家に帰る。生活を守り、守られるために。

山を通る風の様に循環した生活がこの土地にあるのだろう。

「取手ストリートアートステージプロジェクト」は「人とアートが共存する街づくり」をテーマに取手駅東口周辺のステージに美術作品を設置する事で、訪れる人々がもっと身近にアートを感じられる豊かな環境を作り出すプロジェクトです。

取手市と東京藝術大学による共同研究事業として、7つのステージには東京藝術大学美術学部彫刻科の学生が制作した作品を設置しました。



PRESS RELEASE

令和6年3月25日
取手市教育委員会 生涯学習課 埋蔵文化財センター

茨城県指定文化財 長禅寺三世堂 の内部特別公開

茨城県指定文化財である「三世堂」の内部特別公開。
年一回の祭礼に合わせ、通常公開していない堂内部の公開を実施します。長禅寺の主催により毎年4月18日(曜日に関係なく)に実施されているものです。

実施場所 茨城県指定文化財「長禅寺三世堂」

所在地 取手市取手2-9-1

開催日時 令和6年4月18日 木曜日

午前9時から10時30分と正午から午後3時

(10時30分から正午までは法要とその準備等により、内部への立ち入りはできません)

主催者 長禅寺(毎年の祭礼に合わせた行事で、市が主催する一般公開ではありません。)

公開に当たって

- ・三世堂の内部への入堂、参拝、見学ができます。
- ・上記の時間内なら、どなたでも入堂できます。
- ・無料です。
- ・駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・三世堂の内部公開の時間中は、写真撮影も可能です。

【同時公開】

「旧取手宿本陣染野家住宅」を臨時公開します(午前10時から午後4時、入場は3時30分まで)。

問い合わせ先	取手市 教育委員会 生涯学習課 埋蔵文化財センター 担当者：本橋 弘美、飯島 章 電話：0297-73-2010(直通) E-mail：maibun@city.toride.ibaraki.jp
--------	--

<裏面に続きます>

◎長禪寺三世堂（県指定文化財）

長禪寺三世堂は享和元年（1801）の建築で、外観は2階建てに見えますが内部は3階建てです。1階には坂東三十三か所、2階には秩父三十四か所、3階には西国三十三か所の各観音札所のご本尊の写しが安置されています。内部には上り専用と下り専用の階段があり、順路に沿ってお参りすれば人の流れが交差しない「さざえ堂」様式になっています。

「さざえ堂」様式の建物は、長禪寺のほかには、群馬県太田市の曹源寺、埼玉県本庄市の成身院、福島県会津若松市の旧正宗寺、青森県弘前市の蘭庭院の計5か所しかなく、大変に珍しいものです。



4月18日の内部公開の時の茨城県指定文化財「長禪寺三世堂」

◎旧取手宿本陣染野家住宅（県指定文化財・市指定史跡）

旧取手宿本陣染野家住宅は、寛政7年（1895）の建築で、水戸街道に残る3棟の本陣建築（土浦市中貫宿、かすみがうら市稲吉宿）の中では最も古く、また規模も最大で、唯一内部や敷地が一般公開されています（無料）。

裏山には水戸藩第9代藩主徳川斉昭の歌碑があり、水戸藩との深いつながりを今に伝えています。また、明治初期の郵便窓口の後も残り、文明開化の息吹が感じられます。

- 公開日は毎週金・土・日曜日の3日間ですが、毎年長禪寺三世堂のご開帳の日（4月18日）には、臨時公開しています。
- 所在地 取手市取手2-16-41
- 午前10時から午後4時まで（入場は3時30分まで）
- 入場無料



PRESS RELEASE

令和6年3月25日
取手市 建設部 水とみどりの課

鯉のぼりプロジェクト in 岡堰

～ みんな来い 恋 鯉三昧 ～

令和6年4月29日（月・祝）から5月5日（日・祝）の間、岡堰の小貝川堤防及び中の島において、「鯉のぼりプロジェクト in 岡堰 ～みんな来い 恋 鯉三昧～」が開催されます。岡堰の小貝川堤防にたくさんの鯉のぼりが大空いっぱい泳ぎます。

17回目の今回のイベントでは、歌や楽器演奏、ダンスなどのイベントや、子どもを対象としたミニ鯉のぼりの配布などが体験できます。

主催者：鯉のぼりプロジェクト実行委員会

協賛：取手市

令和5年の開催状況写真



問い合わせ先	鯉のぼりプロジェクト実行委員会 事務局 担当者：島田・染谷 電話及び FAX：0297-72-6754 取手市 建設部 水とみどりの課 緑化水辺利用推進係 担当者：斉藤・蛸原 電話：0297-74-2141 （内線 1561） E-mail：water-greenpark@city.toride.ibaraki.jp
--------	---